

政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」は、情報通信技術の進歩に対応し、各分野で IT（情報技術）を活用して、県民だれもが、いつでも、どこでも必要な情報を入手・活用、創造・発信できる社会の形成を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 36 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.2%、低認知度群は 74.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（29.1%）が女性（21.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（27.7%）が 65 歳未満（23.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 36 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.6	23.6	25.2	56.0	18.8	74.8	100.0

性別	男性	1.9	27.2	29.1	54.0	16.9	70.9	100.0
	女性	1.2	20.0	21.2	58.2	20.6	78.8	100.0
年齢別	65 歳未満	1.6	22.3	23.9	56.8	19.2	76.0	100.0
	65 歳以上	1.3	26.4	27.7	54.4	17.9	72.3	100.0

圏域別	仙台	1.4	23.9	25.3	59.8	14.8	74.6	100.0
	仙南	0.9	23.5	24.4	50.9	24.8	75.7	100.0
	大崎	1.8	25.0	26.8	54.9	18.3	73.2	100.0
	栗原	2.7	25.1	27.8	52.5	19.6	72.1	100.0
	登米	1.0	23.0	24.0	59.3	16.7	76.0	100.0
	石巻	2.2	18.3	20.5	60.0	19.4	79.4	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	22.8	23.2	57.8	19.0	76.8	100.0

有効回答者数 1,578 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 47.4%、低認知度群は 52.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(66.6%)では 19.2 ポイント、栗原圏域(57.1%)では 9.7 ポイント、気仙沼・本吉圏域(56.8%)では 9.4 ポイント高い。

仙台圏域(37.9%)では、回答者全体と比較して 9.5 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 54.5%、低認知度群は 45.4%である。

(%)

政策 36 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	44.1	47.4	45.6	6.9	52.5	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	37.9	52.6	9.5	62.1	100.0	
	仙南	3.7	42.6	46.3	42.6	11.1	53.7	100.0
	大崎	2.6	48.1	50.7	46.8	2.6	49.4	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	39.1	8.7	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	56.8	56.8	37.8	5.4	43.2	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	3.0	51.5	54.5	43.9	1.5	45.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 36 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 59.8%、低関心度群は 40.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（63.7%）が女性（55.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳未満（59.8%）が 65 歳以上（59.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（67.0%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、登米圏域（51.5%）では 8.3 ポイント、石巻圏域（52.2%）では 7.6 ポイント低い。

(%)

政策 36 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	11.6	48.2	59.8	32.5	7.7	40.2	100.0

性別	男性	14.2	49.5	63.7	29.2	7.0	36.2	100.0
	女性	8.8	47.0	55.8	35.8	8.3	44.1	100.0
年齢別	65 歳未満	11.1	48.7	59.8	32.9	7.3	40.2	100.0
	65 歳以上	12.5	46.5	59.0	32.0	9.0	41.0	100.0

圏 域 別	仙台	13.4	53.6	67.0	28.2	4.8	33.0	100.0
	仙南	9.6	47.8	57.4	33.0	9.6	42.6	100.0
	大崎	11.7	49.6	61.3	29.6	9.1	38.7	100.0
	栗原	15.3	47.7	63.0	29.4	7.6	37.0	100.0
	登米	8.7	42.8	51.5	39.4	9.1	48.5	100.0
	石巻	8.2	44.0	52.2	40.7	7.1	47.8	100.0
	気山沼・本吉	11.3	50.8	62.1	31.1	6.7	37.8	100.0

有効回答者数 1,605 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 74.9%、低関心度群は 25.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.4%）では 8.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（81.1%）では 6.2 ポイント高い。

仙台圏域（69.2%）では、回答者全体と比較して 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 92.4%、低関心度群は 7.6%である。

(%)

政策 36 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	14.0	60.9	74.9	23.9	1.2	25.1	100.0	
圏 域 別	仙台	15.4	69.2	29.1	1.7	30.8	100.0	
	仙南	17.9	57.1	75.0	21.4	3.6	25.0	100.0
	大崎	5.1	71.8	76.9	23.1	0.0	23.1	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	17.4	60.9	78.3	21.7	0.0	21.7	100.0
	気仙沼・本吉	21.6	59.5	81.1	18.9	0.0	18.9	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	22.7	69.7	92.4	7.6	0.0	7.6	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 36 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 35.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 34.4%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	22.6	(77.4)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		35.9

有効回答者数；重視度 1,556人、満足度 1,537人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	1556	1537
	欠損値	165	184
平均値		68.09	51.25
平均値の標準誤差		.455	.443
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.951	17.361
分散		322.235	301.393
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	57.5	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.5	(83.5)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		33.5

有効回答者数；重視度 333人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	333	332
	欠損値	5	6
平均値		70.51	53.86
平均値の標準誤差		.931	.879
中央値		70.00	57.50
最頻値		70	60
標準偏差		16.997	16.017
分散		288.895	256.541
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	57.50
	60	77.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

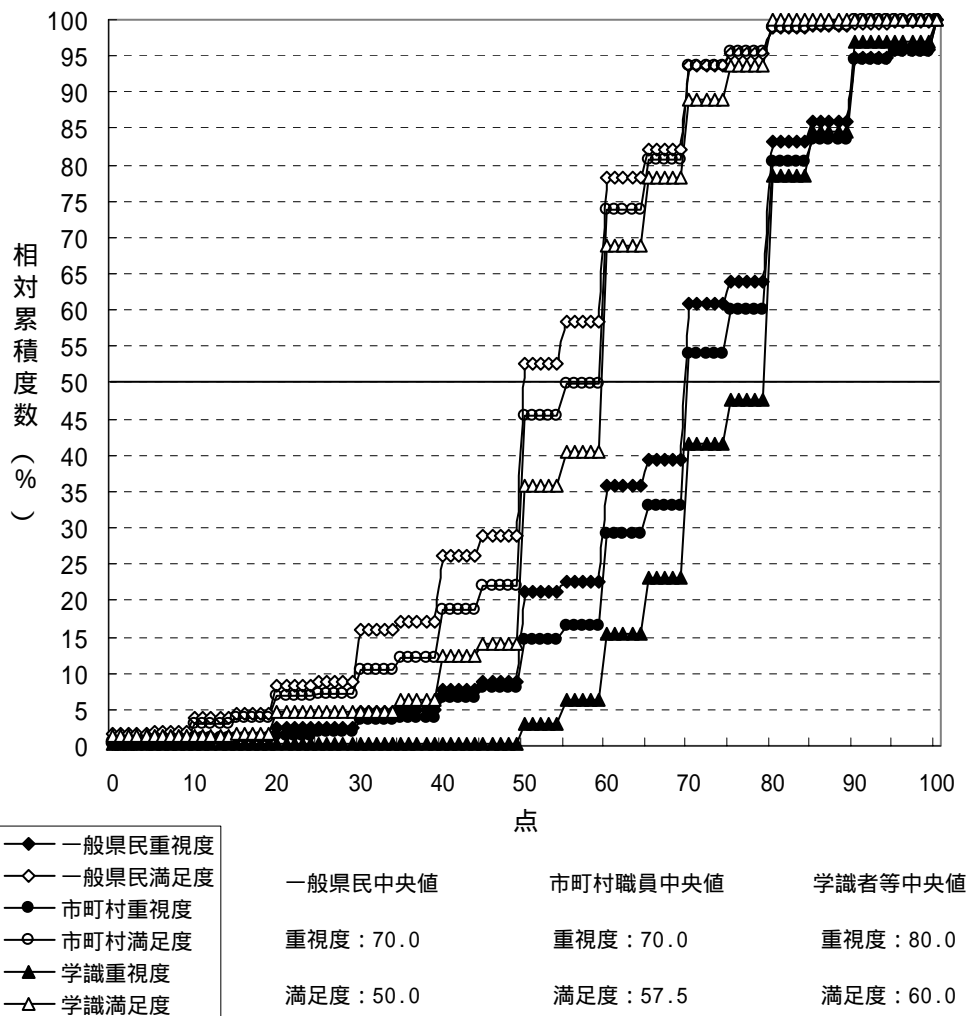
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.2	(93.8)
満足度 60点未満の割合		40.6
要検討領域にある回答者全体の割合		34.4

有効回答者数；重視度 65人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	65	64
	欠損値	4	5
平均値		75.31	57.27
平均値の標準誤差		1.399	1.710
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		11.280	13.684
分散		127.248	187.246
範囲		50	65
最小値		50	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに70.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（20.0点）が女性（15.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(5.6点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性37.5%、女性34.6%と推定できる。

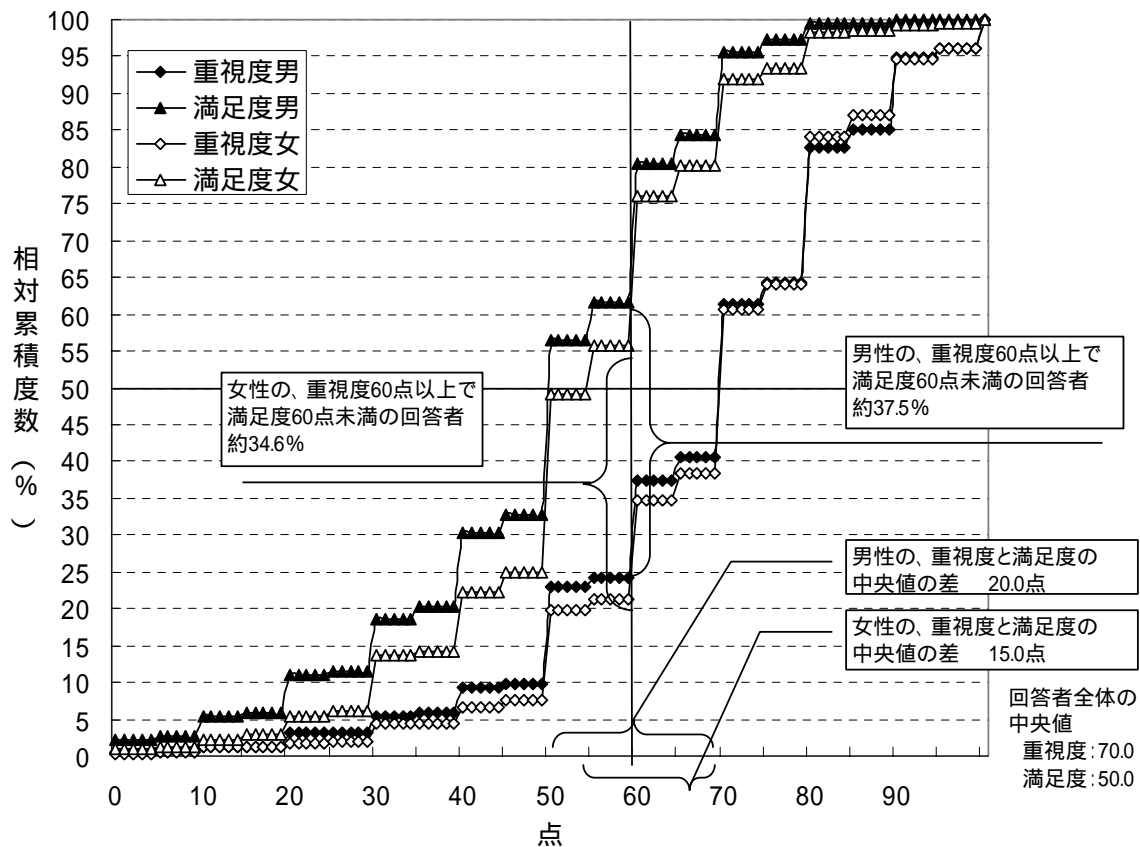
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	48.8
	かい離	20.0	20.0	11.3
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	5.6

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	24.1 (75.9)	21.2 (78.8)
満足度 60点未満の割合	61.6	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	37.5	34.6

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	747	740
	欠損値	56	63
平均値		67.52	49.23
平均値の標準誤差		.682	.658
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.632	17.888
分散		347.143	319.974
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	794	782
	欠損値	102	114
平均値		68.48	53.20
平均値の標準誤差		.613	.594
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.269	16.598
分散		298.230	275.481
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	48.75
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 35.3%、65 歳以上 38.1%と推定できる。

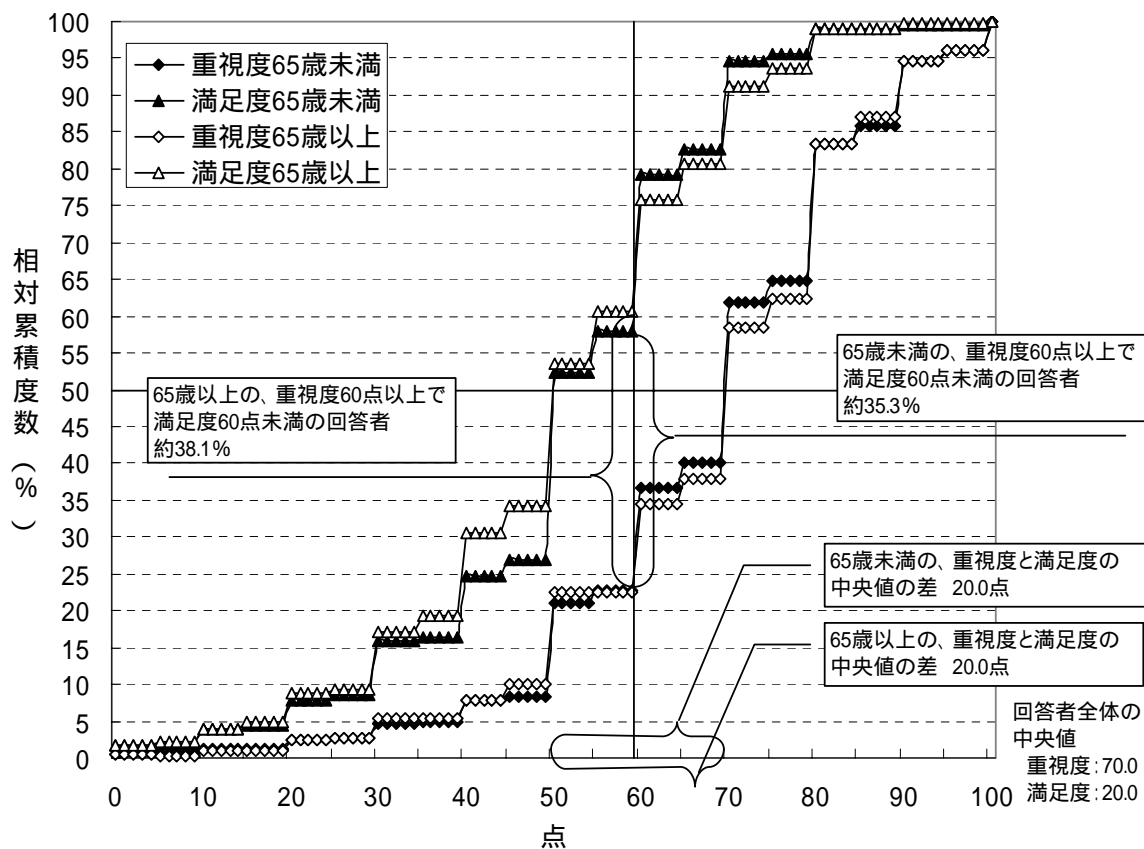
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.7 (77.3)	22.5 (77.5)
満足度 60 点未満の割合	58.0	60.6
要検討領域にある回答者全体の割合	35.3	38.1

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	1161	1147
	欠損値	79	93
平均値		67.92	51.43
平均値の標準誤差		.527	.504
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.952	17.067
分散		322.282	291.269
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策36重視度	政策36満足度
度数	有効	378	373
	欠損値	79	84
平均値		68.24	50.75
平均値の標準誤差		.924	.943
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.964	18.209
分散		322.693	331.559
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (70.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、石巻圏域 (55.0 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 (15.0 点)、登米圏域 (12.5 点)、石巻圏域 (12.5 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 (5.0 点)、石巻圏域 (5.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、石巻圏域 (75.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (75.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、石巻圏域 (50.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (50.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (57.5 点) よりも 7.5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 (15.6 点)、栗原圏域 (12.5 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、登米圏域 (8.1 点)、大崎圏域 (7.5 点) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (12.5 点)、大崎圏域 (10.0 点)、登米圏域 (8.8 点)、気仙沼・本吉圏域 (8.1 点) の 4 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きく、栗原圏域 (5.0 点) が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	52.5	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	17.5	20.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	50.0	60.0	60.0	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	15.0	5.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	72.5	75.0	75.0
	満足度	57.5	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	12.5	10.0	15.0	10.0	20.0	12.5	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	62.5	60.0	58.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	51.3	35.0	43.8
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	5.0	11.3	25.0	15.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	78.8	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	12.5	8.1	10.0	15.6
	満足度	7.5	7.5	7.5	10.0	5.0	8.8	12.5	8.1

4. 政策 36 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」(40.6%)である。

第 2 位は施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」(21.2%)である。

第 3 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」(20.2%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」(32.0%)である。

第 2 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」(26.3%)である。

第 3 位は施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」(17.7%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」(33.3%)である。

第 2 位は施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」(31.8%)である。

第 3 位は施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」(21.2%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、男性では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、女性では施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」である。

第 3 位は、男性では施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」、女性では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、65 歳以上では施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「次世代を担う IT 人材の育成」、65 歳以上では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、仙台、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」である（大崎圏域では施策 1 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、仙南、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」である。

市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、栗原、登米の 2 圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、栗原圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」と施策 4 「電子自治体化の推進」、登米圏域では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 が、気仙沼・本吉圏域では施策 3 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

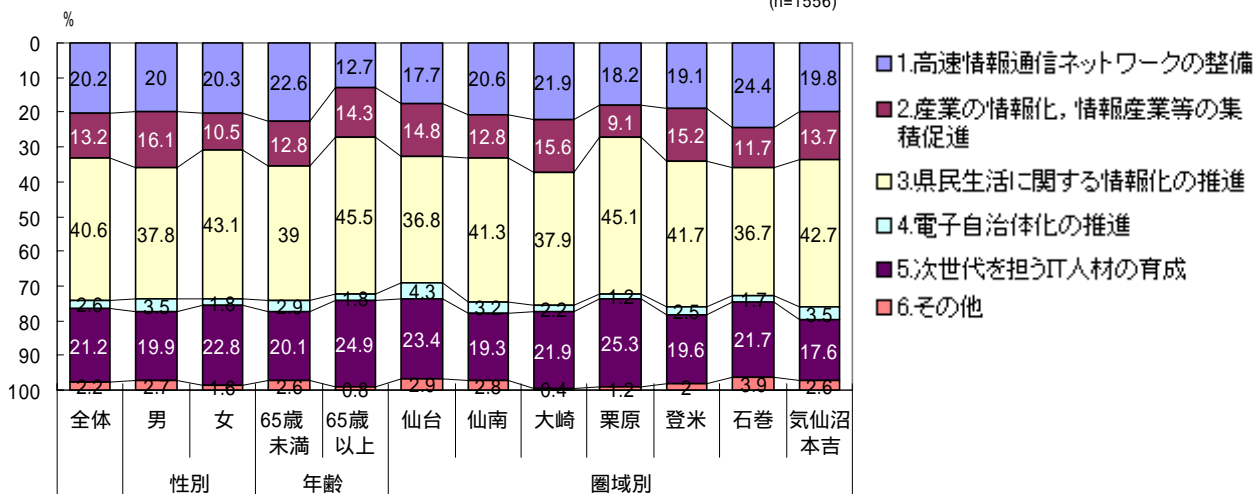
第 3 位は、仙南、登米の 2 圏域では施策 4 「電子自治体化の推進」、大崎、登米の 2 圏域では施策 5 「次世代を担う I T 人材の育成」、仙台圏域では施策 2 「産業の情報化，情報産業等の集積促進」、登米圏域では施策 1 「高速情報通信ネットワークの整備」、石巻圏域では施策 3 「県民生活に関する情報化の推進」である（登米圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

【一般県民】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

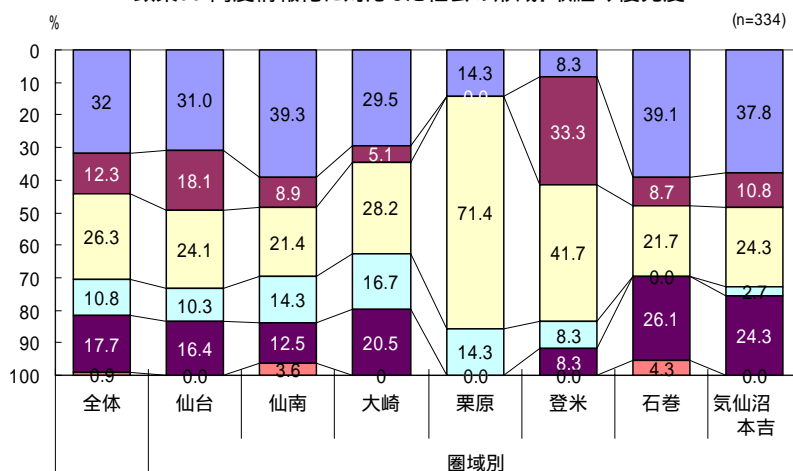
(n=1556)



【市町村職員】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

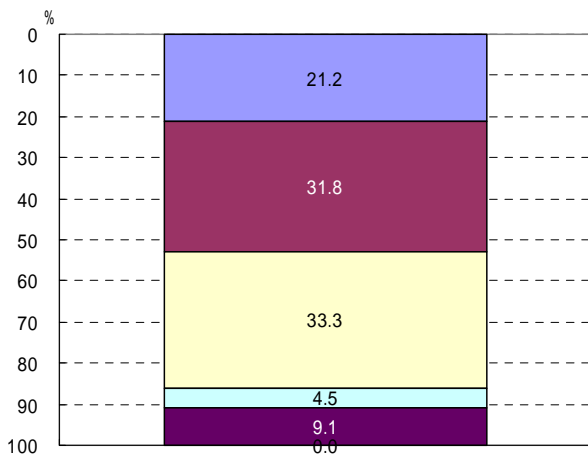
(n=334)



【学識者等】

「政策36 高度情報化に対応した社会の形成」取組み優先度

(n=66)



政策 36 「高度情報化に対応した社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	20.2	20.0	20.3	22.6	12.7	17.7	20.6	21.9	18.2	19.1	24.4	19.8
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	13.2	16.1	10.5	12.8	14.3	14.8	12.8	15.6	9.1	15.2	11.7	13.7
3	3.県民生活に関する情報化の推進	40.6	37.8	43.1	39.0	45.5	36.8	41.3	37.9	45.1	41.7	36.7	42.7
4	4.電子自治体化の推進	2.6	3.5	1.8	2.9	1.8	4.3	3.2	2.2	1.2	2.5	1.7	3.5
5	5.次世代を担うIT人材の育成	21.2	19.9	22.8	20.1	24.9	23.4	19.3	21.9	25.3	19.6	21.7	17.6
6	6.その他	2.2	2.7	1.6	2.6	0.8	2.9	2.8	0.4	1.2	2.0	3.9	2.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	32.0	31.0	39.3	29.5	14.3	8.3	39.1	37.8
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	12.3	18.1	8.9	5.1	0.0	33.3	8.7	10.8
3	3.県民生活に関する情報化の推進	26.3	24.1	21.4	28.2	71.4	41.7	21.7	24.3
4	4.電子自治体化の推進	10.8	10.3	14.3	16.7	14.3	8.3	0.0	2.7
5	5.次世代を担うIT人材の育成	17.7	16.4	12.5	20.5	0.0	8.3	26.1	24.3
6	6.その他	0.9	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.高速情報通信ネットワークの整備	21.2
2	2.産業の情報化,情報産業等の集積促進	31.8
3	3.県民生活に関する情報化の推進	33.3
4	4.電子自治体化の推進	4.5
5	5.次世代を担うIT人材の育成	9.1
6	6.その他	0.0

